

円居の場inまつど

はしもと くになこ ワークショップ
橋本久仁彦WS

きくみるはなす縁坐舞台

～身体をひらき、心をひらき、そして、響きあう～

- ・日時：2月25日（月） 10：30～16：00
- ・会場：天真寺 千葉県松戸市金ヶ作106（新京成線常盤平駅より徒歩7分、駐車場有）
<http://www.tenshin.or.jp/>
- ・参加費：3,000円 （参加費はチーム・コオラクを通した
復興支援活動に役立たせていただきます）

- ※ お子様を同伴される場合は、各自でお子様をお見守りください。
- ※ 昼食は各自でご持参ください。
- ※ WS終了後、オーガニックカフェレストランCAMOO（松戸市八柱）にて、講師との交流会を予定しています。（費用別）
- ※ 今後の詳細な案内はチーム・コオラクのホームページをご覧ください。<http://colak-colak.jimdo.com/>

円居(まどい)の場とは、震災を経て表面化した問題、震災からの再生といったテーマを、関心のある者同士が集まって、聴き、語り、考え、表現していく場です。



橋本久仁彦氏 プロフィール

1958年大阪市生まれ。大学卒業後は高校教師となり、アメリカの心理学者カール・ロジャーズが提唱したパーソン・センタード・アプローチに基づく「教えない授業」を10年間実践する。その後アメリカやインドを遊学し、人間同士の情緒的なつながりや一体感とともに発展する有機的な組織作りと、エネルギーの枯渇しない自発的で創造的なコミュニティの建設に関心を持ち続けている。10年間続けた龍谷大学学生相談室カウンセラー退職後、現在、「聴く」ということによるのみ成り立つ「きくみるはなす縁坐舞台」の公演を全国的に行っている。

「きくみるはなす縁坐舞台」とは、その時、その場所に集まった人たちが行う即興舞台。何かの縁で集まった人たちが円になって坐り、話し手の言葉に全員が耳を傾け、放たれた言葉を役者が演じる。「きくみるはなす縁坐舞台」で、話し手が語った言葉のみでなく、その言葉に込められた情念や心境までもが、ただありのまま受け止められる様は、不思議で温かく、「聴く」の真髄を体験できるとして、カウンセラーや教師など「聴く」ことを生業とする者のファンも多い。

■主催：地域活性化センター松戸（NPO法人CoCoT） 〒271-0092千葉県松戸市松戸2050 電話：047-366-8909 URL：<http://npo-cocot.com/>

■企画・運営：チーム・コオラク URL：<http://colak-colak.jimdo.com/>

※このワークショップは、NPO法人CoCoTの円居の場プロジェクトから誕生したチーム・コオラクが、南相馬市と千葉北西部を演劇でつなげる『ブリッジプロジェクト』の一環として企画運営しました。

※この事業は、NPO法人CoCoTの協力のもと、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成を受けて実施しています。

■参加申込先：地域活性化センター松戸 Emailまたは電話で①～⑤をご連絡ください。 Email：madoi@npo-cocot.com 電話：047-366-8909
①お名前②所属（または職業など）③メールアドレス④電話番号⑤参加理由（簡単に） ※いただいた情報は、この企画以外には使用いたしません。

■問合せ先：ワークショップ内容のお問い合わせは、担当者直通電話（080-5875-9910）にお願いいたします。